



News Letter

2018.10

No.101

在日外国人に日本人と変わらない医療を

● 巻頭特集

岐路に立つ医療通訳

1990年前後にイランや中南米から多くの移住者が来日し、医療機関を受診する際の言葉のハードルを解消するために医療機関へ同行し通訳する人材が求められ始めました。

その後、日本政府が観光客の増加と医療目的による来日の促進を国家戦略としたことや、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定が起因となって、外国人患者の受け入れ整備が進んできました。それに伴って、医療通訳の立場や役割が大きく変わってきたと感ぜられる機会が増えています。

以前なら無償のボランティア通訳が同行していた医療の現場は、今日では医療機関雇用の通訳者、院内の他の業務と兼務する医療スタッフ、外部から派遣された通訳者などが混在している状態です。その他に民間企業の遠隔ビデオ通訳、NPOの電話通訳も利用されています。医療機関が通訳の準備に動き出したことで医療通訳としての質が確保されつつありますが、患者が同行する通訳もまだ利用されています。

医療通訳を専門職として確立するために、医療通訳について勉強を重ねた団体が集まって語学・医療知識・倫理・セルフケアなど、習得しておくべき項目が行動基準としてまとめられました。また、医療現場で通訳として活動してきた多くの人の経験や、先行する外国のルールを基に医療通訳の職業倫理規程も作成されました。それらや医師、研究者の意見を基に厚生労働省の研究班が「医療通訳育成カリキュラム基準」を作成したこ

とは大きな一歩となりました(2017年9月改定)。カリキュラムが発表されたことにより、それに準じた講座が体系的に開かれるようになりました。

過去には患者の支援者であると考えられ、医療機関から支払いの肩代わりを求められたことすらありましたが、医療通訳という役割が社会で広く認識されるようになるにつれ、現在は、医療チームの一員、文化の仲介者としての役割を期待されるようになってきています。専門職として大きな責任を伴ってきたことを感ぜざるを得ません。これらは一本の線ではなく、倫理や研修が整うことにより資格や身分が、そして資格や身分が保証されることにより報酬が、と多様な相互作用により医療通訳という仕組みが循環し始めたのだと考えます。

当センターでも設立以来20数年にわたって蓄積してきたセンターの経験やスキルに、厚生労働省の医療通訳育成カリキュラム、医療通訳者の行動基準、医療通訳士協議会作成の医療通訳倫理などを反映した独自のプログラムで通訳スタッフを育成しています。

今年度から通訳専用ラインを用意しましたが、相談ラインと連携することで患者、医療機関双方からのご相談にも対応し、より満足いただける通訳サービスの実施をスタッフ一丸となって実現してまいりますので、ぜひアムダ通訳ラインをご利用いただきたいと思います。

● 活動・サービス内容

相談電話番号: **03-6233-9266**

● 対応時間 月曜日～金曜日 10:00～15:00
やさしい日本語で対応いたします。

アムダ通訳専用ライン: 医療機関向けサービス

上記電話番号にお問い合わせください。

● センターホームページ「問診表等外国語版」のご案内

アドレスはこちら! ダウンロードもOK!

<http://amda-imic.com/>

外国人および医療機関向けに下記のような文書や書式を英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、日本語で作成(「こころの健康を守るために」はタイ語、ベトナム語、ハンダ語、フィリピン語版もあり)。ぜひご利用下さい。

● Visiting Doctors 協力医訪問



小川医院 院長小川説郎先生

阪神尼崎センタープール前駅から徒歩で3分の便利な所にあるかなり大きな建物が小川医院です。地域に溶け込んで医療をされておられる様子でした。土曜日午前、診察時間のお忙しいところをお邪魔したにもかかわらず、快くインタビューに応じて頂きました。

先生はどのようなきっかけで医師になられたのでしょうか？ 子供の頃から医師になりたいと思っておられましたか？

実はカリフォルニアのドスシバリスという所に親戚があり、私は昔から時々そこに世話になっていました。徐々に徐々にアメリカの大学の医学部に行きたいと思うようになりました。しかしアメリカの大学の医学部では、学生が患者さんを扱うときに問題が生じた場合の保険があるのですが、その保険料は基本的にアメリカ人の場合は出身地の州が払うのです。という事は私には出ません。フィリピンの大学でイースト大学ラモンマグサイサイ大統領記念医療センター医学部（UERMMMMC）という所があって、そこは全米医学部テストに受かっていれば受験資格があると知りました。私も全米医学部テストとフィリピンのUERMMMMCの入学試験に通り、マニラで結局5年勉強し卒業しました。この大学を卒業するとECFMGというアメリカのレジデントに申し込み統一試験を受けてアメリカに行くこともできましたが、私は日本に帰り日本の国家試験を受けて医者になりました。

英語に関しては、大学では授業も試験も全部英語で受けてきています。テキストも全て英語で問題ないですが、今になって反省するのはもっとタガログ語を覚えておけばよかったかなと思っております。

フィリピン人の患者さんは毎月どれくらい来られますか？他国の方も来られますか？

どれくらいと言われると難しいですが、多いときは1日10人ぐらい、最低でも1人か2人は来るのじゃないですか。よくフィリピン領事館の職員も来てます。うちの嫁はもともとフィリピン人でして、尼崎にはいっぱいフィリピン人がおまして、患者さんで英語で対応できる人は私がやって、フィリピン語の場合は嫁が対応します。嫁もフィリピンの看護大学を出ています。この辺に住んでおられる中国の方が来られることがありますが、アメリカ人とか全くいらっしゃらないですね。うちは大腸ファイバーとか胃カメラなど、全国的にも群を抜いてレベルが高い先生も居るので利用してもらいたいのですが知られていないようですね。胃や腸のポリープを取っても10分で終わります。フィリピンにも診療所があるので、4年間位はほぼ毎月のように帰っていました。しかし、ここ尼崎市には死体検案をやる医者が現在私だけです。今日も実はさっき行って来たんですけども、そういう仕事が毎月20から30件ぐらいあるので今はフィリピンまでなかなか行けません。

普通の一般的な健診も受けられるのですか？ 英語で診断書を出していただけるのでしょうか。

健診をしていますし、英語の診断書もいくらでも出しますよ。ずっと住んでる人は、それなりに対応策をお持ちでしょうが、一番困るのは来日されて言葉が通じない事ではないですか。来日されて急性の疾患で、例えばお腹が痛いとか、頭が痛くなれば一番困ると違いませんか。私自身もずいぶんフィリピンでお世話になった人間ですから、財政的に困っている人とか緊急の場合、うちが起点になってその病気に対応できる病院をちゃんと紹介することができます。うちも実は日本フィリピンアンヘルズ医療福祉人材育成機構というNPOを持ってまして、フィリピンの留学生を支援しているんですよ。例えばそのうちの一人が来日して3日目に熱が出て、医者に行ったら山ほど検査しても原因が見つからなかったのです。でも私は現地を知っている人間ですから、これはデング熱だと、すぐわかるわけです。というのも私は自分になっているから、どんな病気かわかるわけですね（笑）。そういう場合は大阪市立総合医療センターにお願いして数日間入院させています。それ以外のケースでもうちで全部を扱おうとすることはほぼ不可能で、例えば骨折とか火傷で非常に問題があるとき、適切な病院を紹介する様にしています。

本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

〈インタビューを終えて〉

小川先生のお話をお聞きし、フィリピンとの深いつながりを通して現地のNPOで若い介護福祉士を育てあげられていること、また尼崎の土地に根ざし、ご専門の認知症治療をはじめ各種医療でフィリピン等外国の方も小川先生と奥様とで日本の患者さんと共に診ておられることに感銘を受けました。

（ボランティア H）

物忘れ外来の河野メソッド、セスナの操縦資格など紙面の都合で掲載できなかったことについてもとても興味深いお話をたくさん伺うことができました。NPO活動、そしてインタビュー中にも電話で相談を受けていらっしゃったフィリピン在住者のための無料医療相談と小川先生の穏やかで確かなエネルギーを感じる1時間でした。お忙しいところ、本当にありがとうございました。同行してくださったボランティアのHさんにも感謝しています。

（事務局 In）



医療法人社団小川医院

〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町4-40-3 TEL: 06-6416-7789

診療科目／物忘れ外来、総合内科、緩和ケア外来、消化器科、皮膚科、糖尿・甲状腺科、血液内科、
心臓循環器科、訪問看護、美容外科

診療時間／月～土 8:00～12:00 月火水金 17:00～19:00

休診日／日曜日、祝日



せかいのこ と ば



食は人間の身体を作り、生活習慣病などの病気のある程度予防することができる。食と医療は分かち難く結びつき、人の健康・人生は食と共にある。

世界共通、生姜・蜂蜜・卵は Teppan!?

風邪を引いたときはどのような対処をしますか？アジアは漢方の利用や医食同源の薬膳による対処が根強い。韓国では咳が出たら梨汁（ベズップ＝咄呑）といい、梨の芯をくりぬき蜂蜜を入れて蒸して残った汁を飲むと効くと言われている。同様のものが中国にも存在する。冰糖梨水といい、切った梨と氷砂糖、それに漢方やアーモンドなどを加えて煮込んで食す。他には、卵と砂糖で茶碗蒸しのように蒸して食す白糖蒸鸡蛋というの咳に効くらしい。タイでは、生姜と塩で漬けたものをのど飴のように口に入れる **ซิงผสมเกลือ** (kin krua) や、レモンと蜂蜜を朝飲むと効く **น้ำผึ้งมะนาว** (nam plueng manow) がある。ちなみにタイでは **น้ำเกลือแร่** (nam krua rae) といってスプライトに塩を一つまみ入れて飲むと下痢や風邪に効くらしい。話が脱線したが、ヨーロッパやアメリカ大陸でも生姜・蜂蜜・卵いずれかを牛乳・ワイン・ブランドー・コーラ等に加えて飲む。方法は違えども生姜・蜂蜜・卵による対処法は世界中に存在している。

その土地に根付いた食

メキシコ在住時、風邪や体調不良の際にはメキシコ人は口を揃えて Té (Té de manzanilla カモミールティー) を飲み、Chocolate (ホットチョコレート) を飲み、仕舞にはアルコール度数40度を超える地酒メスカル (Mezcal)* が即効だと云う。それはさておき、風邪気味の時は栄養満点のチキンスープ (Caldo de Pollo) が好まれる。これはメキシコだけでなくアメリカやイギリス、ブラジルでも風邪の時に食されているようだ。ちなみにメキシコはウチワサボテン (Nopal) をステーキにしたり、スープやサラダに入れて食す。また、

食事には乾燥したハイビスカスの花を煮出したハマイカ水 (El agua de Jamaica) を飲む。サボテンやハイビスカスの花の成分は糖尿病予防効果がある。糖尿病が国民病というこの土地の理にかなった食事なのである。

世界の病院食

医療の場面における食といえば、入院時に出る食事一病院食も忘れてはならない。十数年前、タイ・バンコクにある有名私立病院に検査入院したとき、ホテル並みの設備や行き届いたサービス、食事もおやつ付きで至れり尽くせりだった記憶がある。センターのタイ語担当の者に聞くと病状に依るが、食事はメニュー表が渡されオーダーするとのこと。まるでホテルのインルームダイニングのよう。それはさておき、世界の病院食を見てみるとお国柄が反映されている。例えば韓国では必ずと言っていいほどキムチが付いてくる上に料理も辛いらしい。また、インドでは起床直後とおやつ時間にティー (紅茶) とビスケットが出るそう。同じ英国文化の影響があるオーストラリアにも同様のタイミングでティーの時間がある。ちなみにオーストラリアでも病院食は例外に漏れず、不評でデリバリーを頼む長期入院患者もいるらしい。しかしながら、このような病院に対して、低所得者病院での食事は限られた予算の中での献立になる。例えば、ハンガリーのある病院は一日3食を約2.20ドルで作らなければならないところもあるという。より厳しい状況の病院は世界中に存在している。

食事は日々代わり映えない生活行為であるが、美味しいものを味わうことができるのは実は幸せなことであり、健康な証拠である。家族や仲間と語らいながら食することは、人生の大切な時間ではないだろうか。 (事務局 M)

《出典・注釈》

*メスカル：アガベ (竜舌蘭) を原料とするメキシコ特産の蒸留酒のこと。

Web サイト『看護 roo!』『はてな Press!』『シドニーに嫁いだ看護師のブログ』



● ご寄付のお願い

当センターは会費・寄付などにより運営されています。ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

会員募集：センターの活動を援助して下さる会員の方を募集しております。

当センターは特定非営利活動法人 AMDA (本部岡山) とは別会計で、独立した会員制度を設けております。

AMDA 本部の会員とは別ですので、お間違えのないようお願いいたします。

【会員の種類と会費】 4月1日～3月31日までを1年度とする

年会費 個人 1口6,000円 団体 1口20,000円
 賛助会員 学生 (高校、大学、専門学校生) 1口2,000円
 ジュニア (中学生以下) 1口1,000円
 個人会員および団体会員は半年ずつの分納が可能です。

4月から翌年3月までを1年間といたしますが、初年度のみ、10月以降に賛助会員に加入される場合は、個人会員は3,000円で、団体会員は10,000円でご入会いただけます。賛助会員は何口でも結構です。

【寄付】 おいくらからでも結構です。

会員および寄付の振込先

郵便振替 00180-2-16503
 加入者名 AMDA国際医療情報センター
 * 銀行振り込みご希望の方は、お手数ですがセンター東京 (Tel: 03-5285-8086) までご連絡下さい。

消化器科・外科・小児科
小林国際クリニック
 Kobayashi International Clinic
 小林国際医院

【診療時間】
 平日 午前9:15～12:00
 午後2:00～5:00
 土曜日 午前9:15～午後1:00
 休診日: 水、日、祝日
 〒242-0005
 神奈川県大和市西鶴間3-5-6-110
 (小田急江ノ島線 鶴間駅下車徒歩4分)
TEL: 046-263-1380
<http://5884-international-clinic.com>

医療法人社団 慶泉会

町田慶泉病院
PAX INTRANTIBUS SALUS EXENTIBUS
 (旧町谷原病院)

外科・内科・整形外科
 肛門科・泌尿器科
 血液透析センター・療養病床
 回復期リハビリテーション
 訪問看護ステーション

〒194-0005
 東京都町田市南町田2-1-47
TEL: 042-795-1668
<https://www.machida-keisen.com/>

内科・リハビリテーション科
 医療法人 隆福会
福川内科クリニック

【診療時間】
 平日 午前9:30～12:00
 午後4:00～6:30
 土・日曜日 午前9:30～12:00
 休診日: 木曜日、祝日、2、4、5日曜日

〒537-0024
 大阪市東成区東小橋3-17-7
TEL: 06-6974-2338
<https://www.takafukukai.com/>

● 編集後記

今年の気候はレモンには厳しく、ブルーベリーには豊作をもたらしてくれました。様々な気候が多様な植物を育てるとはわかっていても、人の生活に大きな打撃となると心が大きく痛みます。レモンの木には蜂が巣作りをやってきたので成分が穏やかな蚊取り線香を木の近くで何日も焚き続け、何とか別のところへ行ってもらうのに右往左往しました。準備をしても思いがけないことが起きうることを肝に銘じたいと思った、この夏でした。(事務局 In)

芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋ということで今回の世界のことばは『食』をテーマに。先日、銚子の海へ行った時に食べた漁師のプリンと呼ばれる伊達巻は衝撃的でした。滞在中に市内で作られている7店舗中3店舗の伊達巻を試しましたが、作り手によって正にプリンだったり茶碗蒸しのようだったりお味は様々。医療における外国人支援も我々の調理法にかかっていると云っても過言ではないと思います。(事務局 M)

編集発行：特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター

センター東京：〒160-0021 新宿区新宿歌舞伎町郵便局留 TEL 03-5285-8086 FAX 03-5285-8087
 町田オフィス：〒194-0005 東京都町田市南町田2-1-47 TEL 042-799-3759
 ※郵便局留でメール便を送っていただくことはできませんのでご注意ください。お問い合わせ、発送物はセンター東京(新宿)へお願いいたします。

発行責任者 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター理事長 小林米幸
 理事長受賞歴：外務大臣表彰(平成13年)、(財)アジア福祉教育財団より感謝状(平成13年)、
 慶応義塾大学医学部三四会奨励賞(平成15年)、神奈川県医学会学術功労賞(平成17年)
 かながわレッドリボン賞(平成24年3月26日受賞式)
 制作：株式会社インターブックス